

議会だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発行／2016年(平成28年)12月1日
<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

目次

平成28年第3回定例会の主な審査状況	②
平成28年第3回定例会の提出議案と議決結果	②
請願の処理	③
委員会審査から	③
一般質問	④～⑩
議員定数等調査特別委員会	⑩
記名投票の結果	⑪
平成27年度決算審査	⑫～⑬
行政視察報告	⑭～⑮
平成28年第4回定例会の開催予定	⑮
議会活動、市民の広場	⑯

【表紙写真を募集しています。詳しくは最終面へ】

来鳴 第21回リュウネブルク市親善使節団 平成28年10月13日～17日



上段左：板東の地元小学生と交流する使節団

上段右：鳴門のまつりに参加し神輿を担ぐ使節団員

中段左：ドイツ館で地元保育園児の歓迎を受ける使節団

中段右：ドイツ兵捕虜合同慰霊碑に献花する使節団

下段：板東俘虜収容所跡で地元の小学生と記念撮影をする使節団

平成28年 第3回定例会の主な審査状況

9月15日(木) 第3回定例会 開会 予算決算委員会

- ・市長より市政についての所信が表明され、平成28年度補正予算案など議案11件、報告2件が提出されました。
- ・補正予算に関する議案6件を予算決算委員会に付託しました。
- ・本会議散会后、予算決算委員会を開催し、付託された議案6件の説明を受け、質疑を行いました。

9月21日(水) 一般質問

- ・6会派による代表質問を行いました。

9月23日(金) 一般質問

- ・議員5名による個人質問を行いました。
- ・市長より追加議案1件が提出されました。
- ・議案6件・請願1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

9月27日(火) 総務文教委員会 予算決算委員会第1分科会

- ・付託された議案5件について審査の結果、可決すべきと決しました。
- ・鳴門市第一中学校助教諭の不祥事について説明がありました。
- ・企画総務部、消防本部、教育委員会の補正予算案について審査しました。

9月28日(水) 生活福祉委員会 予算決算委員会第2分科会

- ・付託された議案1件について審査の結果、可決すべきと決しました。

- ・請願2件について審査の結果、継続審査すべきと決しました。
- ・市民環境部および健康福祉部の補正予算案について審査しました。

9月29日(木) 産業建設委員会 予算決算委員会第3分科会

- ・臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願について審査の結果、継続審査すべきと決しました。
- ・報告2件について担当課より報告を受けました。
- ・経済建設部および企業局の補正予算案について審査しました。

10月4日(火) 予算決算委員会

- ・付託された議案6件について各分科会主査の報告を受けた後、採決の結果、補正予算に関する議案6件はいずれも可決すべきと決しました。

10月6日(木) 第3回定例会 閉会

- ・第3回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受けた後、討論があり、その後、採決を行い、補正予算に関する議案6件、その他の議案6件はいずれも可決と決しました。
- ・議員より議案1件が提出され、否決しました。
- ・市長より人事案件3件が提出され、同意しました。
- ・平成27年度各会計歳入歳出決算の認定に関する議案14件および報告2件が追加提案され、議案については予算決算委員会に付託し、閉会中の継続審査としました。

《平成28年 第3回定例会の提出議案と議決結果》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第60号	平成28年度鳴門市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	予算決算
議案第61号	平成28年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第62号	平成28年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
議案第63号	平成28年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第64号	平成28年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第65号	平成28年度鳴門市水道事業会計補正予算(第1号)		
報告第9号	平成27年度決算に基づく鳴門市健全化判断比率について	報 告	
報告第10号	平成27年度決算に基づく鳴門市資金不足比率について		
議案第66号	市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について	原案可決	総務文教
議案第67号	鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について		
議案第68号	鳴門市地域バス運行条例の一部改正について		
議案第69号	鳴門市学校教育施設整備基金条例の制定について		
議案第71号	財産の取得について		
議案第70号	鳴門市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
報告第7号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について	報 告	産業建設
報告第8号	専決処分について(損害賠償の額の決定)		
発議第2号	鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	原案否決	
同意第2号	教育委員会委員の任命について	同 意	
同意第3号	公平委員会委員の選任について	同 意	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について	同 意	

請願の処理

請願第16号 国庫負担を増額し、国民健康保険税（料）の引き下げを求める請願
請願第18号 さらなる年金削減の仕組み「マクロ経済スライド」の廃止を国に求める意見書採択についての請願
請願第19号 臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願書
については、委員会の審査で継続審査となりました。平成28年第4回定例会で、再度審査を行う予定です。

委員会審査から

総務文教委員会

● 議案第68号 鳴門市地域バス運行条例の一部改正について

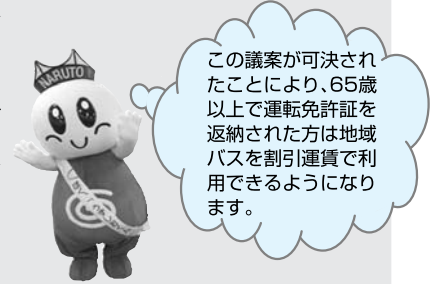
〔説明〕 高齢者の安全対策を推進するため、65歳以上で運転免許証を返納された方が地域バスを割引運賃で利用できるよう所要の改正を行うものである。

〔質疑〕 割引の対象となる65歳から70歳までの免許証自主返納者は何人を想定しているのか。

〔回答〕 本市の免許証自主返納者が年間200人程度であるとする、そのうち想定する65歳から70歳までの方は2、3人程度。対象者は少ないが、70歳以上の方に対しても市外に向かう路線について半額になるという利点がある。

〔質疑〕 地域によってはバス停留所に行くまでに時間がかかる方がいるので、市民が平等に利用できるようにするべきではないか。

〔回答〕 バス運行に関しては、交通手段の少ない地域の便数を補填しており、交通弱者に配慮した路線となっている。



生活福祉委員会

● 議案第70号 鳴門市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について

〔説明〕 県の制度改正に伴い、ひとり親家庭等の児童を対象に助成制度を拡充するため、所要の改正を行うものである。

〔質疑〕 市内のひとり親家庭の児童総数は。

〔回答〕 529人である。

〔質疑〕 今回の制度改正によって医療機関にかかる場合の医療費の上限はどうなるのか。

〔回答〕 ひとり親家庭の児童の通院費については、小学校修了後18歳に達する日以後の最初の3月31日までは1ヶ月、1医療機関につき上限が千円の自己負担となり、医療費の助成対象が拡充される。

産業建設委員会

※平成28年第3回定例会において、産業建設委員会への付託議案はなく
請願については継続審査となりました。

予算決算委員会

● 議案第60号 平成28年度鳴門市一般会計補正予算（第2号）

〔説明〕 補正予算の規模は9億1,151万円で「子育て環境や高齢者施策の充実」、「防災対策の推進」など、必要性の高い事業を厳選したものである。

〔質疑〕 耐震シェルター普及推進モデル事業費の内容は。

〔回答〕 徳島県が指定した耐震シェルターを設置する場合に、経費の一部として、工事費の5分の4、最大80万円までと、検査員の派遣費用の全額、5万円を補助する事業であり、5件を計上している。

〔質疑〕 民生児童委員活動費負担金及び民生児童委員協議会活動費負担金が補正計上されている理由は。

〔回答〕 県条例の改正により本市の民生児童委員の定数が12月より143人から1人増えて144人となることにより4ヶ月分の活動費負担金と協議会活動費負担金を増額するものである。

一般質問

代表質問

●叶井 克典(会派 郷土)

1. 教育行政について
 - (1) 学力向上について
2. 産業建設行政について
 - (1) 農業行政について
 - (2) 土木行政について

●三津 良裕(会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 委託料について
 - (2) バス路線について
2. 教育行政について
 - (1) 学区制について
 - (2) 二学期制について

●圃山 俊作(会派 志)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 第六次鳴門市総合計画について
2. ポートレース鳴門の新施設の活用について
 - (1) リニューアルオープン後の新施設の利用実績及び今後の見通しについて

●宅川 靖次(会派 平成なると)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 鳴門市制施行70周年記念の取り組みについて
 - (2) 第六次鳴門市総合計画について
2. 農業政策について
 - (1) 六次産業化について



●橋本 国勝(会派 有志会)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 女性活躍推進法に基づく行動計画について
 - (2) 情報管理と法令遵守について
2. モーターボート競走事業について
 - (1) 競艇臨時従業員に支給された離職せん別金に関する訴訟について
 - (2) 不適切な発言に対する申し入れについて

●松浦 富子(会派 公明党鳴門市議団)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 防災・減災対策について
 - (2) 循環型社会の構築について



問 公設市場を民営化でできないのか。

答 市場関係者・市内生産者・事業者等から引き続きご意見をいただきますながら、本年度末までに策定予定の「公共施設等総合管理計画」と合わせて、中・長期的な視野に立った、施設活用や運営方法について検討したいと考えています。

問 全国学力・学習状況調査の結果公表についてどのような考えか。

答 公表のあり方は、従来の方針を検証し、より積極的な公表をとの思いをもっています。

問 学力向上について市長はどのような思いか。

答 子どもたちが、自己の可能性をひろげ、将来社会的に自立するとともに、希望する職業を選択し、自らの役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくために、児童・生徒に確かな学力を身につけさせることは、極めて大切なことだと認識しています。

問 公設市場のごみ集積場におけるカラス対策は。

答 長時間、集積場にごみを置かない、焼却場への搬出回数を増やすなどの対策を講じてきました。今後においても、ごみの搬出方法を徹底するとともに、ごみ集積場のみならず、公設市場全体の美化に努め、カラス対策に取り組んでいきます。



会派 郷土
かない かつのり
叶井 克典

問 渡船の耐用年数は、どのくらいか。

答 渡船として利用している鋼船の耐用年数は一般的には25年程度といわれています。

問 渡船の予備船の進捗状況は。

答 3渡船のうち、島田渡船は、利用人数が少ないこともあり、船体の小型化やその他の代替輸送に切り替えることも可能であることから、現行の船体を予備船とすることを検討しているところです。

問 公設市場のごみ集積場におけるカラス対策の充実を(公設市場)



カラス対策の充実を(公設市場)



会派 創心クラブ
みつ よしひろ
三津 良裕

問 予算審議で委託の事業名と委託予算額を審議するが委託先は未定が多い。平成28年度一般会計当初予算総額は250億2500万円、総委託先が743件、総委託料が19億986万3000円、その内、委託先が未定は681件、予算金額は13億321万5000円、一般会計全体の5.2%を占める。ポートレース会計は支出予算が476億8391万9000円、総委託先が112件、総委託料が33億1923万7000円、その内、委託先が未定の件数が100件、予算金額は28億1544万7000円、会計全体の5.9%を占める。年度内に委託先が選定され、事業が行われるが、議会は、多くの場合、決算審査まで委託先を知ることがない。このような委託先の選定方法に問題はないのか。

答 選定について、関係法令に基づき業務内容等も勘案し決定しています。

問 バス事業はバス乗車料金だけで運営できないなか、路線のない地域への対策など、5年後、10年

後の将来への対応については。
答 利用者のニーズの動向を見ながらコミュニティバスやデマンド交通、フリー乗降の可能性など調査研究し対応していきたいと考えています。



市内を走る地域バス

問 高校入試の3学区制は、県議会などの審議を踏まえて平成16年度から導入されてから以後、鳴門市にとって多くの課題や不公平な問題があるが解決しないままである。これ以上、この制度を認めてはいけない。鳴門市は、抜本的な変更を主張すべきである。鳴門市は、通学区域にどのような問題意識を持ち、徳島県教育委員会にどのような提案や要望をしているのか。
答 県教育委員会に全県的な入学者選抜のあり方の検討について要望しました。

問 3学期制に戻してはどうか。鳴門市は2学期制についてどのように検討し、問題点、課題点を持ち、これからどのようにするのか。
答 学期制のあり方については検証が必要であり、学校関係者、保護者、有識者にご意見を聞き検討したいと考えています。



会派 志
はたけやま しゅんさく
圃山 俊作

問 第六次鳴門市総合計画の各事業の実績は。また、後期基本計画策定の取り組み状況は。

答 平成27年度の148事業の進捗状況は、計画どおり85、ほぼ計画どおり30、未達成28、完了5となつています。また、総合評価として、A評価が55、B評価が88、C評価が5、D評価が0となっており、計画全体としても概ね順調に推移していると考えています。

後期基本計画については、現在、市民意識アンケートの調査結果や前期計画の各事業の進捗状況、行政評価の結果等を踏まえ、総合計画審議会で協議検討を行っています。今後、計画素案の議会での審議の後、パブリックコメントを経て、今年度中に後期基本計画を策定します。

問 ポートレース場の敷地内で計画が進んでいる温浴施設は、来年12月にオープンされる予定であるが、さらに敷地内のスペースを活用して、例えば産直市などの施設

を設置する考えはないか。

答 まちづくりエリアの活用については、ポートレース場を人が集まるエリア、ランドマークとするべく、遊具の設置や温浴施設、プレパークの整備に向けた準備を進めています。今後とも開放施設をはじめ、スタンド周辺エリアを活用した様々な提案をいただきながら、多くの方に訪れていただけるスポットとして、市民の皆様にご協力をいただきながら、にぎわいのあるエリアとして育てていきたいと考えています。



ポートレースまちづくりエリアの有効活用を

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定して作成しています



会派 平成なると
たくかわ やすし
宅川 靖次

問 鳴門市制70周年記念に向けての取り組みは。

答 記念事業の企画に当たりましては、70周年を市民の皆様とともに祝う機会にするとともに、これまで積み重ねてきた本市の歴史や文化を踏まえながら、その価値を未来へと引き継いでいく視点を大切にしたいと考えています。多くの市民の皆様にご参加いただき、本市への愛着や鳴門市民であることの誇りを再認識していただける記念事業を実施できるよう、今後とも企画を進めていきます。

問 「結びあう絆が創る笑顔と魅力うずまく鳴門」の取り組みとしての鳴門駅周辺の整備事業の現在の進捗状況は。

答 基本計画の策定に基づき専用道路と駐輪場、歩道橋撤去についての実施計画を行うとともに、整備についてJR四国との協議を進めてきた結果、今月協定を締結することができました。今後、専用道路部分の工事及び旧観光案内所

の撤去を行い、さらにロータリー等の周辺整備の実施設計を予定しているところです。来年度は、歩道橋の撤去及び駐輪場の整備を行うとともに、残

る周辺整備にも着手し、利用者の利便性と回遊性の向上とともに、本市のイメージアップにもつながる事業としていきたいと考えています。



周辺の整備がされるJR鳴門駅

問 六次産業化に向けて、本市としてのサポート面、また補助金制度を活用する手順は。

答 徳島県六次産業化サポートセンターと連携し、生産者、JA、事業者等を対象とした異業種交流会、商品づくりのための支援セミナー、首都圏等での商談会などを企画開催しています。

補助金活用の相談窓口は農林水産課で対応しており、農商工担当部局の情報支援を図り、県関係機関とも連携しながら、六次産業化の取り組みを積極的に支援していきたいと考えています。



会派 有志会
はしもと くにかつ
橋本 国勝

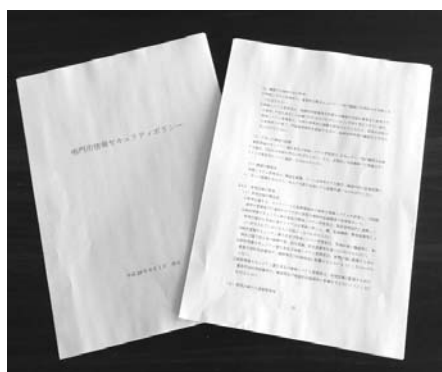
問 女性活躍推進法に基づく行動計画の策定に当たり、どのような根拠で数値目標を設定したのか。

答 平成32年度までに女性の管理職の割合を30%以上とする目標を設定し、時間外の勤務の縮減、職場環境の改善を図るため男性の育児休業取得率を15%とする数値目標を掲げています。

問 情報漏えいにつながらかねない不適切な取り扱い事案が発生したが、どのような認識で対応し、再発防止に向けてどのように取り組むのか、あわせて今後、法令遵守について、職員の教育や情報管理、情報漏えい防止に向けてどのように取り組むのか。

答 全職員に対し改めて法令遵守及び服務規律の徹底、鳴門市情報セキュリティポリシーの遵守について周知徹底を行ったところであり、今後もマネージメント能力の向上や内部チェックの体制の強化、公務員としての個人情報の適正管理などコンプライアンスのさらなる

徹底を図ることにより、職員一人一人の再発防止に向けた意識改革に努めていきます。



情報の管理は適切に
(情報セキュリティポリシー)

問 漁協関係の債権放棄は別とし、企業局長個人に求められた損害賠償金額2069万円請求権の放棄について、企業局長みずから市民に対して債権を放棄した事について弁明なり釈明するなり、説明責任があつていいのではないかと考えるが、そのような対応をするつもりはないのか。

答 臨時議会で債権放棄を議決いただいた案件については、局長の釈明はないのかとの質問ですが、現在のこの協力費訴訟については、後行訴訟も現在継続中につき、答弁は控えさせていただきます。



会派 公明党鳴門市議員
まつうら とみこ
松浦 富子

や市民
ロール
常パト
よる日
職員に
現在
いては、
理につ
維持管
市道の
います。
了して
32橋の
り組んで
213橋の
了して
います。
市道の
維持管
理につ
いては、
現在
職員に
よる日
常パト
ロール
や市民



10橋中7橋が耐震化完了(撫養川大橋)

問 災害時に避難所や物品の輸送路となる重要な社会基盤である国土強靱化基本計画に基づく道路・橋梁整備の現状と今後の進め方は。
答 本市の橋梁におきましては、主要避難路にかかる10橋の耐震化工事計画を立て、現在7橋の工事が完了しています。また、道路法改正に伴う橋梁点検の近接目視の義務化等もあり、橋梁の保持、点検につきましては緊急課題として取り組んでおり、平成26年度から732橋のうち213橋の点検が完了しています。

の通報、要望により異常が認められた箇所の修繕を行う事で、市民の通行の安全に努めています。道路面下の状況まで把握する事は困難な状況です。路面空洞調査については、橋梁の耐震化工事が完了した後は、道路のひび割れやたわみ等の路面性状調査を実施し、結果により路面空洞調査についても検討していきます。

問 食品ロスは市民全体で考えたり、取り組んだりするのが大事である。市民に対する食品ロス啓発と削減を強化していただきたいが、現状と今後の取り組みは。
答 具体的には、来年1月に食品ロスの現状や削減のために一般家庭でできる取り組み等に関するパネル展示を行い、幅広く市民の皆様を意識啓発を行い、ウェブサイトや広報誌による周知、各種イベント等でPR等、啓発に努めます。また、食品ロス協力店の啓発に向けては、行政・事業者・市民が一体となつての取り組みは行っていませんが、今後先進事例等を参考にしながら検討していきたいと考えています。

問 食品ロスは市民全体で考えたり、取り組んだりするのが大事である。市民に対する食品ロス啓発と削減を強化していただきたいが、現状と今後の取り組みは。
答 具体的には、来年1月に食品ロスの現状や削減のために一般家庭でできる取り組み等に関するパネル展示を行い、幅広く市民の皆様を意識啓発を行い、ウェブサイトや広報誌による周知、各種イベント等でPR等、啓発に努めます。また、食品ロス協力店の啓発に向けては、行政・事業者・市民が一体となつての取り組みは行っていませんが、今後先進事例等を参考にしながら検討していきたいと考えています。

の通報、要望により異常が認められた箇所の修繕を行う事で、市民の通行の安全に努めています。道路面下の状況まで把握する事は困難な状況です。路面空洞調査については、橋梁の耐震化工事が完了した後は、道路のひび割れやたわみ等の路面性状調査を実施し、結果により路面空洞調査についても検討していきます。

個人質問

●浜 盛幸

1. 市庁舎について

- (1) 市本庁舎の文化的・観光価値について
- (2) 新庁舎建設について

2. まちづくり行政について

- (1) 空き家対策について



●平塚 保二

1. 消費生活問題について

- (1) 鳴門市消費生活問題の具体的取り組みについて
- (2) 鳴門市消費生活問題の今後の課題について

2. 水環境問題について

- (1) 汚水処理人口普及率向上施策について

●東谷 伸治

1. 環境政策について

- (1) 再生可能エネルギーについて



●上田 公司

1. 雇用と人事について

- (1) 非正規職員の処遇について
- (2) 正規職員の処遇について

2. 子育て支援について

- (1) 子どもの医療費助成制度について
- (2) 児童クラブのあり方について



●川田 達司

1. 衛生事業について

- (1) し尿収集業務と手数料について

2. 高齢者福祉政策について

- (1) 成年後見人制度について
- (2) 介護老人施設への入所待機者について



《傍聴にお越しく下さい》

・本会議・・・議場

(受付:東側階段より3階議場入口)

・委員会・・・委員会室

(受付:中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

当日、傍聴券をお渡ししますので、受付にてお名前、ご住所、年齢をご記入ください。職員がご案内いたします。

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定して作成しています



はま せいこう
浜 盛幸
(公明党鳴門市議員)

問 鳴門市庁舎等は、日本建築界でも高い評価を得て、近代建築100選にも選ばれている増田友也氏の設計であるが、文化的価値や観光資源として、市民、県民をはじめ日本、世界にアピールが必要では。

答 増田氏による建築物は、市庁舎や文化会館など普段公共施設として使用され、業務が行われていることや、学校など自由に入場できない施設もあり、観光資源としての利用にあたっては検討すべき課題が存在します。市内に点在する数多くの作品について多くの方に知っていただき、本市の知名度向上が図られるよう、引き続き情報発信に努めていきます。

問 新庁舎建設については、建設コストの削減や歴史的、文化的遺産を後世に伝える意味でも、現在の本庁舎を耐震改修して残していくべきと思うが。

答 現在の本庁舎を長期的に施設として利用するには、経年による



築53年が過ぎた本庁舎

機能、性能の劣化に対応した大規模改修が必要であり、その費用は総務省が提供する公共施設等更新費用試算ソフトによると、10億円程度が必要になると試算されます。また、鉄筋コンクリートの耐用年数はおおよそ50年から80年とされていることから、大規模改修を行っている場合でも、既に50年が経過しているため、近い将来建て替えざるを得ない状況となっております。こうしたことから、本庁舎については、公共施設等総合管理計画の中で施設の保存やライフサイクルコストを踏まえた財政負担の軽減、安全性の確保など様々な視点から、検討していきたいと考えています。



ひがしだに しんじ
東谷 伸治
(郷土)

問 太陽光発電が下火になりつつある今、風力発電の市場拡大が期待されている。本市においても環境省からの受託事業として、風力発電のデータを取るため1950万円の補正予算が計上されているが、想定される課題は。

答 平成28、29年度の2カ年で里浦町の紀伊水道において洋上風力発電の可能性について検討しましたが、洋上では制約が少なく安定した風力を得ることができると考えています。海洋台帳では海上80メートルの高さでは風速6〜6.5メートルとなっており、風力発電が可能となっております。課題としては景観や鳥類の渡りへの影響、漁業や船舶への影響等の検討をし、適地の抽出を行っていきます。



渦潮で発電を

意 鳴門市第4次温暖化対策実行計画には潮流発電の可能性について検討するとある。明石海峡では三菱重工業が中心となり、岩屋漁業協同組合も協力し官民一体で実証実験がされており、関門海峡でも潮流発電についての実証事業が北九州市において行われている。最近の徳島大学工学部の調査では、鳴門海峡のエネルギーの総ポテンシャルは400万kW、原発4基分のエネルギーがあるとされている。経済産業省や環境省の予算を獲得し、まずは小鳴門海峡において潮流発電の実証実験の場を提供していくことが、鳴門市のエネルギー自給率を高めるために必要ではないかと考えている。



かわた たつじ
川田 達司
(創心クラブ)

問平成19年度から許可業者の「鳴門市清掃協同組合」が鳴門市のし尿収集業務を行っているが、10年目となる現在も鳴門市直営時の条例が適用されており、規定を定める根拠もないことから早急な廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正を行うべきと考えるが、鳴門市として今後どう取り組むのか。

答市町村が処理していない一般廃棄物の処理手数料を条例で定めることはできないため、収集運搬業務を民営化以降、条例改正について検討しましたが不測の事態に備えて行わなかった経緯もありますが、現時点において「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に「し尿収集運搬手数料」の規定を定める根拠はなく、現在同条例の改正を検討しています。



条例の改正が検討される(し尿処理施設)

問認知症や知的障がいの方たちの権利擁護を行う成年後見制度への取り組み策は。

答成年後見制度の利用者は毎年増加しています。毎月第3水曜日に関窓を開設して司法書士による専門的なアドバイスや支援を実施し、この制度を安心してご利用いただける環境の整備を図ると共に、相談者に寄り添った支援事業として取り組んでいきます。

問平成27年度から始まった「鳴門市基幹型地域包括支援センター」の現状と課題は。

答市内5ヶ所の地域包括支援センターから一部の事例を引き継いで、専門職を対象とした研修や生活支援コーディネーターの配置などの活動を本格化する一方、専門職の欠員など顕在化している課題もあることから、事業を本格化するためにも事業の進行状況の精査や適時の評価を実施し、早期に軌道に乗せた事業推進に取り組んでいきます。



スタートして1年が経過した包括支援センター



ひらつか やすじ
平塚 保二
(郷土)

問私は鳴門市議会議員として、市政について様々な角度から市民の皆様や理事者の皆様と意見を重ね、私の信条である自分の目で確かめ現場に足を運び実情の把握と検証を実践してきた。本市における消費生活関係の予算と寄せられる相談の現状は。

答平成28年度予算における消費生活関係の予算額は467万9000円で主な内容としては、消費生活員2人分の報酬230万4000円、相談員の資質向上のための研修参加旅費36万円、啓発パンフレットやチラシ等の印刷製本費86万円、消費者問題講演会開催などの委託料63万5000円となっています。平成28年度は8月末で127件となっており、主な相談内容としては、ワンクリック詐欺や意図しない定期購入に対するものとなっています。

問鳴門市において消費者詐欺被害撲滅を進めていくに当たって、

こういった民間で活躍する方などと官民一体となった取り組みの必要があると私は考えている。鳴門市の取り組みについては。

答消費生活コーディネーターの皆様にはくらしのサポーターの活動支援等に取り組んでいただくとともに、鳴門市消費者協会の皆様においては本市の消費者行政に県消費者情報センターと連携して悪質商法や特殊詐欺被害防止のキャンペーンを行ったり、市と共催して消費者の市を開いたり、本市の消費者行政にご協力をいただいております。こうした献身的な取り組みにご協力をいただいております。敬意を表すると共に感謝しております。



まずは相談を



うへだ せいご
上田 公司

問 鳴門市では臨時的任用職員の有給休暇に関して労働基準法に沿った運用となっていない。労働基準法の規定を踏まえて定めるべきという総務省通知に従い、有給休暇の加算と繰越に関して労働基準法に従うべきでは。

答 臨時的任用職員の有給休暇については、労働基準法の規定に沿った取り扱いとなるよう検討したいと考えています。

問 臨時的任用職員の通勤手当も他市との均衡を理由に大きな差を設けているが、すでに正規に準拠している自治体もあり、その他も鳴門市より相当支給基準が高いことから県内最悪となっている。早急に現状の認識の甘さを反省し、改善するべきでは。

答 現在、県内近隣の自治体でも改善されていることから、それら他団体の状況も参考としながら検討していきたいと考えています。

問 徳島市が子どもの医療費無料

化を中学校卒業まで拡充することから、もはや小学校卒業までとしているのは鳴門市を含め3市町のみである。市は財政的な負担などを言い訳にしているが、それは鳴門市だけではない。いかに拡充の優先順位を下に見ているのかが分かるが、他自治体を見習い早急に拡充するべきでは。

答 今後、まず国や県に同制度の助成拡充について働きかけ等を行っていききたいと考えています。

問 林崎児童クラブは耐震化できていない施設にあふれんばかりの受け入れ状態で、安全面・衛生面が懸念される。早急な改築や受け入れ体制の改善が必要では。

答 林崎児童クラブは建築年数が長く、安全面・機能面等に問題があることから、条件が整い次第、整備に向け準備を進めるとともに、今後環境整備を含めた現状の課題解決について情報共有に努めたいと考えています。



改善が求められる林崎児童クラブ

議員定数等調査特別委員会

6月24日に決議により委員定数9名とする特別委員会として設置されて以来、本市における適正な議員定数及び議員報酬について調査・研究を行うため、5回委員会を開催してきましたが10月4日の委員会において審議未了により解散することに決しました。

【定数についての主な意見】

- 具体的な数字をあげ定数を削減する方向で議論をするべきである。
- 資料をもとにすると、定数を削減する具体的が理由がない。
- 本委員会は適正な定数を算出するための調査を目的とする特別委員会であることから、定数の根拠をどこに求めるのか、人口、市の面積、地形等の地理的要因、他市における議員定数に関する議論の状況等、様々な面から調査を行うべき。

【報酬についての主な意見】

- 市長給与との比較等を基本として検討するとともに正副委員長報酬の新設等も委員会として検討するべき。
- 市の附属機関である特別職報酬等審議会に委ねるべき。
- 他市の議員報酬からみても特に本市の議員報酬を引き下げる根拠はない。今後議員を目指す市民のことを考慮しても簡単に削減するべきではなく、きちんと根拠を示すべきである。

以上のような意見があり、議論を重ねてきましたが、意見の集約が難しいことから委員会を解散してはとの意見や、継続して調査をするべきとの意見がありましたが採決の結果解散することになり、10月6日をもって解散しました。

● 発議第2号 鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

10月6日の定例会最終日に、野田粋之議員ほか8名より「鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について」の議案が提出されたことにともない、提案理由説明、討論が行われ、採決の結果否決されました。

◆ 討論 ◆

提案理由	<p>【野田 粋之】 鳴門市議会は、平成17年11月に議員定数を22人にしてから変わっていない。 行財政改革のもと、市営バス事業や病院・保育所の民営化などを議会から提案し、市職員の給与カットや市職員の削減も認めてきたことから議員自らも身を切る覚悟が必要であると判断し、5回定数削減を提案したが、いずれも否決された。 現在においても、行財政改革は終わったわけではなく、人口減、少子高齢化が進む今、地方行政や議会に対する国民や市民の目は一段と厳しさを増し、地方自治体は生き残りを賭けて、厳しい状況に臨まなければならない、議員としての覚悟を示すべきと考え、新しい時代にふさわしい地方議会になるよう、議員定数を削減する議案を提出するものである。</p>
	<p>【秋岡 芳郎】 鳴門市議会は平成17年に定数を4人削減して以来変わらぬままである。私は議員有志と平成25年に、無作為に2,060の市民アンケートを郵送し、700の回答のうち86.7%の定数減を望む声を得た。その中で「定数削減を反対する理由が自分を守るためにしか聞こえない。」との意見があった。議会に対する市民の目は一段と厳しくなっており、議員自らが厳しい状況下に身を置くべきである。</p>
反対討論	<p>【谷崎 徹】 本市は、島しょ部や山間地まで広く、議員を減らして多くの市民の声を聞けるのか。議会自自行財政改革に取り組むのであれば常任委員会の視察を取り止めることを提案したい。政務調査費で十分対応できるし、政務活動費も減額すべきである。いずれにしても議員定数を削減することが行財政改革にはならない。</p>
	<p>【平塚 保二】 私は議員定数適正化について本来は削減すべきと申し述べましたが、今回の提案理由はあまりにも唐突で議論が十分で無く反対の立場を表明する。まず提案者は約4年前には4削減案を調査の結果と幾度も申し述べており、それがなぜ今回本来の手続きを踏まずに2削減案を提出したのか。身を切る改革ならば4削減の18が妥当と考える。12月議会を目途に4削減を含め提案を行いたい。</p>
	<p>【叶井 克典】 現状での5万人から7万人都市の平均は、人口が58,357人、議員定数が21.9人、議員一人当たり人口が2,678人で本市と変わりが無く、今なすべきことは、議員定数を削減するのではなく、全議員で英知を出し合い、調査研究を行い、人口削減等の課題に正面から対峙することであると考えることから反対する。</p>
	<p>【東谷 伸治】 ①鳴門市議会議員一人当たりの人口は現在2,713人、類似都市の議員一人当たり人口は2,679人。他都市との比較では決して多くないこと。 ②すでに3分の2近くの削減を実施しており、国会や県議会等と比較しても十分過ぎる削減を行ってきたこと。 ③感情的には議員定数削減は共感できるが、条例改正の合理的根拠がないこと。</p>
討論	<p>【圃山 議員】 例えば、財政的な負担軽減を目的とするのであれば、定数を減らす方法と報酬を減らす方法があると思うが、議員定数等調査特別委員会では十分な調査議論が行われなまま審議未了で解散となった。現状では調査不足であり、定数減に何の基準も合理性もないまま定数が減っては議員として一番大切な「市民の声を聞く」ことが出来なくなることから反対する。</p>

記名投票の結果

議決結果	佐藤 絹子	浜 盛幸	秋岡 芳郎	上田 公司	圃山 俊作	平塚 保二	山根 巖	潮崎 焜及	林 勝義	谷崎 徹	野田 粋之	松浦 富子	川田 達司	叶井 克典	宅川 靖次	橋本 国勝	東谷 伸治	藤田 茂男	三津 良裕	宮崎 光明	大石美智子	東 正昇
賛成	○		○				○	○			○		○		○	○			○		○	
反対		○		○	○	○			○	○		○		○			○	○		○		

※議長は、地方自治第116条(表決)第2項により、議員として議決に加わることはできません。

人事案件

●教育委員会委員

にわ あつこ
丹羽 敦子 氏(撫養町)

●公平委員会委員

もとい しんすけ
元井 信介 氏(徳島市)

●人権擁護委員

しまだ しげひと
島田 茂仁 氏(大津町)

おかだ しょうじ
岡田 章二 氏(撫養町)

■平成27年度の決算を審査・調査しました■

7日間にわたり、予算決算委員会および分科会を開催し、平成27年度決算に関する14議案について審査・調査しました。

※委員会での審査の中で出た質疑、それに対する答え・説明、意見・要望を抜粋しました。

教育・文化

(■質疑／●：答え・説明／★：意見・要望)

【教育】

■外国青年招致事業について、まずは国語の授業数をしっかり確保してから外国語教育を充実させるべきではないか。

●次期の学習指導要領案では小学校においては外国語教育の授業数が増えることによって、国語の授業数が減るということではなく、外国語も国語も言語活動であることから、両者を効率的に連携させることで国語の能力も発展していくものと考えている。



【文化】

■鳴門市姉妹都市親善使節団青少年派遣事業参加補助金については。

●平成27年度は1名につき12万円、12名に対して144万円の補助金を支出した。

★来年3月に第九里帰り公演がドイツで開催されることから、第九を歌うことを楽しみにしている中学生や高校生がこの公演に参加できるような方法も検討して欲しい。

■文化会館管理費について、文化会館のつり天井の修繕の予定は。

●相当な費用を要して耐震化が立て替えを検討しないといけな施設である。公共施設等総合管理計画の中で全庁的な方向性を考えながら、今後の改修のあり方を検討したい。

★吉本も入ってきて市の目玉施設でもある文化会館を利用する頻度が高まっており、安全性が確保されるようお願いしたい。



まちづくり

(■質疑／●：答え・説明／★：意見・要望)

【市民協働】

■We Loveなるとまちづくり活動応援補助金による事業の実施内容は。

●団体に補助金を支出しており、グラウンドゴルフ大会、染め物教室等の開催を通じて高齢者の健康増進や生きがいづくり、子どもたちが伝統文化にふれあう機会の創出に資する事業等が実施された。



【土木】

■漂流物（廃船4隻）処分委託業務は。

●漂流物、廃船については、沈んだ状態、もしくは浮遊している状態で川の流れを阻害しているため、撤去した。別の場所で何ヶ月か仮保管し、持ち主が現れなかった場合に処分するという形を取っている。

★鳴門市には、このような船がたくさんあるが、処分についての法的根拠が曖昧だという感じがするので、県のように罰則も含め条例等を制定する必要があるのではないか。

★鳴門市が管理する水路においては看板等をたてるなどして、市が管理していることを示すように。

●県がどのような指導をしているのかを参考にしながら今後、取り組みを行っていききたい。

【下水道】

■工事請負費について、前払金や中間前金払など、支払方法は。

●支払方法については、約款で決まっており、工事費にもよるが、保証契約を結んでいる場合は、前払金で工事の着工時に請負額の4割以内を支払うことが可能であり、中間前払金については、工事が半分過ぎた時点で2割以内を支払えるものであり、規定に従っている。

社会福祉

(■質疑／●：答え・説明／★：意見・要望)

【福祉・健康】

- ファミリーサポートセンター事業について活動件数が増えた理由は。
- 保育所や幼稚園の登園前の預かりが304件、放課後児童クラブへの迎えが348件と多い。また平成26年度は依頼会員が381名、提供会員が368名、両方会員が81名であり、平成27年度は依頼会員が409名、提供会員が405名、両方会員が87名と会員数が増加したことによるもの。
- ファミリーサポートセンターが実施している子育て支援を集約して、一体的に行えるのではないかと。
- 子育て支援施設を集約して一体的に子育て支援を行うことについて、いただいた意見を参考にしながら検討したい。
- ★子どものためになるように一体的な子育て支援を検討して欲しい。
- 災害時医療救護所資機材の購入について。
- 聴診器、血圧計、体温計、手動式蘇生器等で構成される携帯型救急セットを4セット購入したものであり、7カ所ある災害時医療救護所のうち3カ所分は平成27年度以前に購入しており、残り4カ所分である。

【介護・保健】

- 収納率向上特別対策事業費について嘱託徴収員の徴収等実績は。
- この事業は収入未済を翌年に繰り越さないことを主な目的として、納付期限の過ぎた保険料の徴収を行う業務であり、平成27年度については5人で約4千万円の徴収実績があった。
- ★滞納に至らない環境作りは大切であり、人選をしっかりと行い徴収嘱託員制度の充実を図ってほしい。
- 高齢者無料バス優待事業費について、利用実態等の調査は。
- 来年度は介護保険事業計画の改定年度となっており、実施を予定しているアンケート調査や窓口対応を通じて利用実態等の情報収集・分析を検討していきたい。
- ★自治振興会の関係者の方と話をする機会があれば、より生の声が聞けるのでは。



生活・環境

(■質疑／●：答え・説明／★：意見・要望)

【生活】

- 市民が市内の火葬場を利用できず、やむを得ず市外の火葬場を利用した場合、火葬場使用料の差額を補助する制度はあるのか。
- 市民が市外の火葬場を利用する場合の使用料は高く、現段階では補助等はない。
- さわやかトイレ管理費について、トイレトーパー持ち去りへの対応は。
- 委託業者との契約ではトイレを確認する回数に限度があり、利用者の方から環境政策課にご連絡いただければ速やかに対応したい。
- ★公衆用トイレへのトイレトーパーの自動販売機の設置や、コンビニエンスストアと店舗のトイレ利用にあたっての業務委託契約の締結等も検討してみてもは。



【環境】

- し尿処理場管理費について、浄化槽汚泥の流域下水道への直接投入の検討については。
- 終末処理場に浄化槽汚泥を処理できる能力がないことから、たちまち実現する可能性は低いが、直接投入については引き続き関係団体と協議していきたい。
- ★今後、し尿処理施設の更新の時期が訪れることから、継続して直接投入の協議をお願いするとともに、協議が整わず施設を更新する場合は、広域行政の視点を持って実施して欲しい。
- 一般的な焼却施設の耐用年数は。
- 全国の実態を調べてみると、30年を越えて稼働している施設も少なからずあり、修理や管理を適切に行えば、30年を越えて利用することは可能であると考えている。

「予算決算委員会での採決結果」

- 議案第72号 「平成27年度鳴門市一般会計歳入歳出決算の認定について」から
 - 議案第85号 「平成27年度鳴門市モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分について」
- までの14議案についてはいずれも認定・原案のとおり可決すべきと決しました。

行政
視察

総務文教委員会

〈11月1日～2日〉

【視察委員】(◎委員長)

◎佐藤 絹子／秋岡 芳郎／上田 公司／
圃山 俊作／山根 巖

視察先

茨城県水戸市（11月1日）／千葉県船橋市（11月2日）

視察事項

「学力向上のプラン」について〈水戸市〉

「小規模特認校」について〈水戸市〉

「避難所運営マニュアル」について〈船橋市〉

「期日前投票システムを活用した避難者情報収集システム」について〈船橋市〉

水戸市では、「水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成」を基本理念とした「水戸スタイルの教育」のうちの一つとして、学力向上推進事業「さきがけプラン」を定め、習熟度別学習や次世代エキスパート育成事業等に取り組んでいました。また、従来の通学区域を残したまま、市内のどこからでも就学ができる小規模特認校制度を実施していました。いずれも、児童・



生徒の意欲を引き出すためのきめ細かいサポートを行っており、少子化の進む本市の学校教育においても、参考になるものでありました。

船橋市では、震災時における様々な取り組みの一つとして、避難者情報の迅速かつ正確な収集と支援体制の確立を目的として、期日前投票システム



を活用した避難者情報システムの実証実験を行っており、そこで明らかとなった課題解決に向け、引き続き取り組んでいく、とのことであります。また、避難所の開設、運営を円滑に行うために、行政、施設管理者、避難者の役割分担等も含めた運営マニュアルを作成し、防災訓練で実践的に活用しており、本市の防災等の取り組みの参考になるものであります。

行政
視察

生活福祉委員会

〈11月7日～8日〉

【視察委員】(◎委員長・○副委員長)

◎潮崎 焜及／○林 勝義／谷崎 徹／
野田 粹之／松浦 富子／宮崎 光明／大石美智子

視察先

福井県福井市（11月7日）／福井県越前市（11月8日）

視察事項

「公立幼保連携型認定こども園の開設」について〈福井市〉

「子ども情報誌『ほっと』」について〈福井市〉

「地域自治振興事業」について〈越前市〉

「空き家・空き店舗等活用コミュニティ推進事業補助制度」について〈越前市〉

福井市では、郊外部の公立の幼稚園と保育園の両施設が設置されている地区について、平成28年度から5年間で順次、認定こども園への移行を進めていました。園児の分散化を防ぎ保護者の就労状況に関係なく教育と保育を一体的に行うという観点のもと幼保再編を行っていました。

また、公募編集員4名により編集されている子育て情報誌「ほっと」はカジュアルな作りで年2回発刊しており大変興味をひく冊子となっていました。両取り組みとも本市の子育て施策を推進するうえで参考になるものでした。



越前市では、地域住民のニーズに応じたきめ細やかなまちづくりを推進していくことを主眼とした、地域自治振興事業に取り組んでいました。地域自治振興事業交付金の予算規模は本市の約8倍程度であり、各自治振興自ら地域自治振興計画を策定し事業の実施に邁進していました。

また、市内全域の空き家・空き店舗等を拠点として市民活動を行う団体に対して補助金を交付していましたが、他課と連携し施策のより効果的な推進を行うとのことでした。両取り組みとも本市が事業を実施するうえでの一つの指針となるものでした。



視察先

宮城県石巻市(11月16日) / 宮城県登米市(11月17日)

「震災後の水産業の振興・復興」について〈石巻市〉

視察事項

石巻魚市場の視察〈石巻市〉

「6次産業化、農産物のブランド化」について〈登米市〉

石巻市では、震災後の水産業の振興・復興について、新装された全国最大規模の魚市場では食品衛生管理方式ハサップに対応しており、徹底した衛生管理や放射能測定システムなどの最新技術を導入することにより、国際的な水産都市を目指していました。また、震災前には207社あった水産加工経営体数が120社に減少しており、復旧に向けては①漁業環境の再生、②操業の



再生、③加工業の再生を柱として取り組んでいました。本市でも災害が起こった場合の水産業の復旧のあり方などの参考になるものでした。

登米市では、農林漁業者が農産物の生産だけでなく、総菜加工、農家レストランや直売所などに取り組み所得を向上させる6次産業化を推進して



いました。市単独事業である農林業支援では加工・販売施設の整備等にかかる費用の一部を助成しており、またベンチャー起業支援として6次産業化等における新規創業を補助金と融資によって支援する事業や、独自のビジネススクールを開設してビジネスとしての農業を実践する経営者の育成をおこなっており、本市の6次産業化推進に向けての参考になるものでした。

平成28年 第4回定例会の開催予定

平成28年第4回定例会は、11月30日から12月22日までの23日間の予定です。

11月30日(水)	議会運営委員会 第4回定例会 開会 イケ 予算決算委員会(議案説明) イ
12月1日(木)	一般質問通告締切
6日(火)	一般質問(会派代表質問) イケ
7日(水)	一般質問(個人質問) イケ 議会運営委員会
8日(木)	一般質問(個人質問) イケ 予算決算委員会(質疑・採決) イ
9日(金)	総務文教委員会 イ
12日(月)	生活福祉委員会 イ
13日(火)	産業建設委員会 イ
16日(金)	議会運営委員会・全員協議会
19日(月)	本会議(議案採決) イケ
22日(木)	第4回定例会 閉会 イケ

イ インターネットで中継・録画配信
ケ ケーブルテレビで中継・録画放送

■ 議会広報番組 ■

＜放送内容＞

- ①平成28年第3回定例会
 - ・定例会の審査概要
 - ・一般質問
 - ・各常任委員会の審査概要
 - ・採決結果
- ②平成27年度決算審査
 - ・平成27年度決算の概要
 - ・予算決算委員会各分科会の審査概要
- ③3常任委員会行政視察の様式
- ④市議会からのお知らせ

＜放送日＞

12月1日(木)～15日(木) <期間中毎日>

＜放送時間＞

デジタル111ch
(8:00～/13:00～/23:00～)
デジタル122ch
(7:00～/12:00～/16:00～/
18:00～/21:00～/22:00～)

[生放送・特別番組により放送されない場合があります]



市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。
本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメールでおよせください。

募集中



- ① 議会だより紙面について（感想、ご要望など）
- ② 議会のしくみや専門用語についての疑問
文の様式は問いませんが、300字以内とします。
- ③ 鳴門市で直近3ヶ月以内に撮影した写真
カラープリントで、できれば鳴門市ならではのもの、季節感のあるものでお願いします。

※ 内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご明記してください。（紙面には年齢・性別のみ掲載させていただきます。）

※ 紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

※ 投稿していただいたものは返却できません。

※ 写真は表紙に掲載させていただきますが、編集の過程でトリミング等の加工をすることがありますのでご了承ください。

✿ 宛先 ✿ 鳴門市議会事務局

〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

☎(088) 684-1234 / 呂(088) 684-0814

✉ gikai@city.naruto.lg.jp

… 市民の皆さんのご応募をお待ちしております …



～編集を終えて～

7月から行方がわからなくなっていたコウノトリが、3か月ぶりに大麻町に戻ってきたというニュース。

ひな誕生に大きな期待が寄せられます。

コウノトリにちなんだ新しい認証ブランド名「コウノトリおもてなし」と、可愛いロゴも決まりました。コウノトリの翼にのせて、鳴門で採れた美味しい特産品を全国に届けてもらいたいですね。

近年、昔ながらの田畑が整理されて宅地や施設用地になり、「全国どこにでもある町並み」へと変わりつつあります。自然環境に恵まれた豊かな里山を残していくことは、コウノトリだけでなく、未来の鳴門市民への財産になるかもしれません。

【コウノトリ豆知識】

コウノトリの成鳥は鳴かず、くちばしを「カタカタ」と打ちあわせてコミュニケーションするそうですよ。

《議会広報委員会》

委員長：秋岡 芳郎

副委員長：圃山 俊作

委員：佐藤 絹子・浜 盛幸・山根 巖

潮崎 焜及・川田 達司・東谷 伸治

議会活動(平成28年9月～11月)

9月

- 1日 市総合防災訓練
- 6日 議員定数等調査特別委員会
- 8日 議会運営委員会
- 15日 第3回定例会開会
予算決算委員会
全員協議会
議員定数等調査特別委員会
- 16日 一般質問通告締切
- 19日 市敬老の日のつどい
- 21日 一般質問
議会運営委員会
- 23日 一般質問
- 26日 議員定数等調査特別委員会
- 27日 総務文教委員会
予算決算第1分科会
- 28日 生活福祉委員会
予算決算第2分科会
- 29日 産業建設委員会
予算決算第3分科会
- 30日 徳島県市議会議長会定期総会(阿南市)

10月

- 2日 赤い羽根共同募金・街頭募金運動
- 4日 予算決算委員会
議員定数等調査特別委員会
第25回全国消防操法大会出場激励会
議員定数等調査特別委員会
議会運営委員会
全員協議会
- 6日 第3回定例会閉会
予算決算委員会
全員協議会
- 13日 瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会臨時総会(宮島)
- 14日 第21回リニューナブルク市親善使節団歓迎夕食会
- 15日 「板東俘虜収容所関係資料」ユネスコ「世界の記憶」(記憶遺産)登録推進協議会設立総会
第15回鳴門のまつり
第14回子どものまちフェスティバル
- 17日 予算決算委員会第1分科会
- 18日 予算決算委員会第2分科会
- 19日 予算決算委員会第3分科会
- 23日 市障がい者スポーツ・レクリエーション大会
- 25日 予算決算委員会
- 26日 市婦人連合会大運動会
- 27日 大牟田市議会(福岡)行政視察来庁
豊川市議会(愛知)行政視察来庁
- 28日 議会広報委員会
- 31日 平成28年度競艇事業運営協議会
鳴門商工会議所臨時議員総会懇親会

11月

- 1日 総務文教委員会行政視察(水戸市・船橋市)(～2日)
- 2日 全国広域連携市議会協議会第65回理事会(東京)
- 4日 張家界市表敬訪問(～7日)
- 7日 生活福祉委員会行政視察(福井市・越前市)(～8日)
- 8日 八幡平市議会(岩手)行政視察来庁
- 9日 鳥取市議会(鳥取)行政視察来庁
- 10日 全国競艇主催地議会協議会役員会・臨時総会(東京)
- 12日 市のびのびげんきまつり
市場まつり
- 14日 宮島競艇施行組合議会(広島)視察来庁
議会広報委員会
- 16日 産業建設委員会行政視察(石巻市・登米市)(～17日)
全国市議会議長会
第15回産業経済委員会(東京)
- 20日 宮津市議会(京都)委員会行政視察来庁
- 22日 里浦南防災センター完成式
- 25日 議会運営委員会
- 25日 優良従業員表彰式
- 30日 議会運営委員会
第4回定例会開会
予算決算委員会
議会だより配布

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮し作成しています。